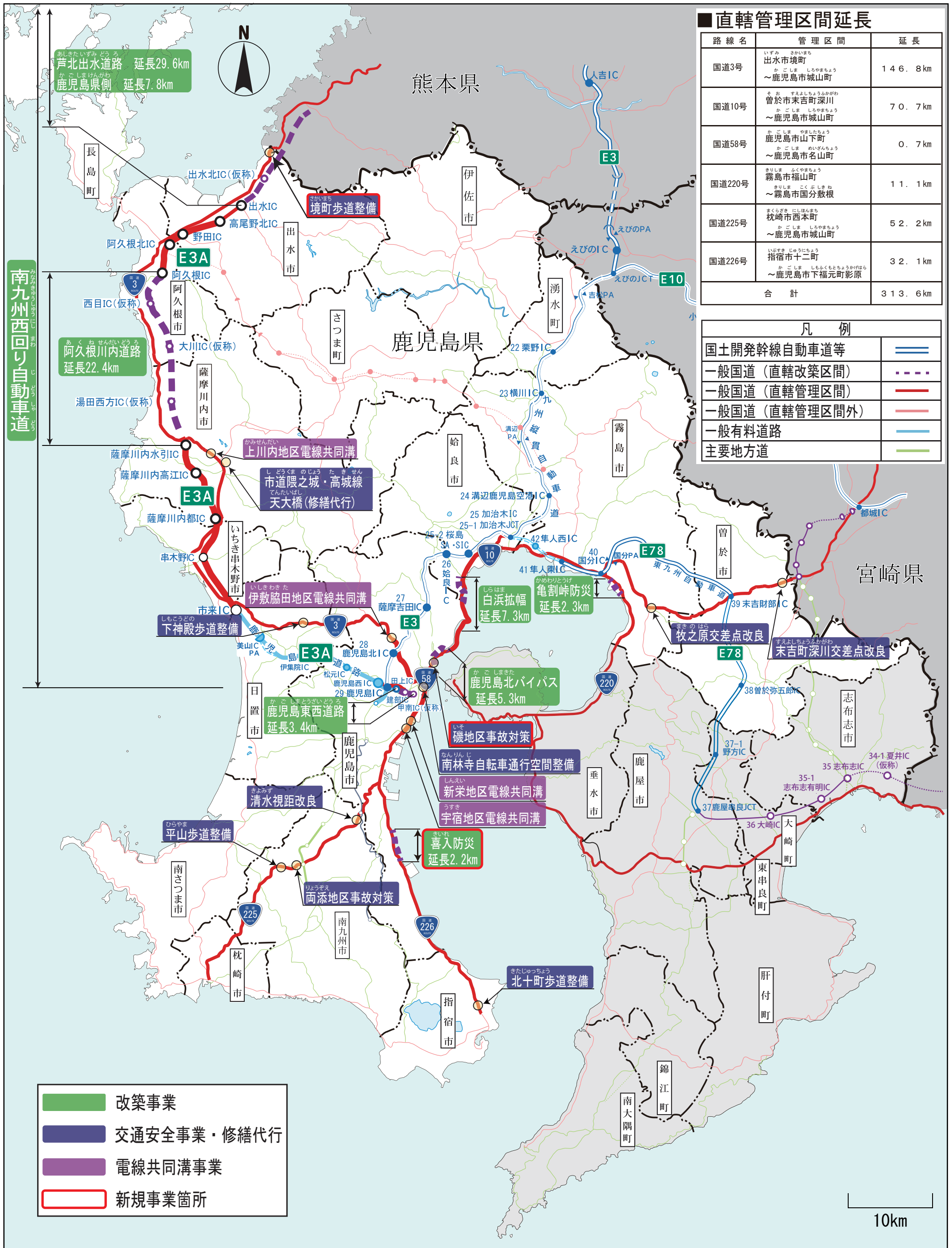


令和4年度 事業概要について



国土交通省 九州地方整備局
鹿児島国道事務所

事業箇所位置図



■直轄管理区間延長

路線名	管理区間	延長
国道3号	出水市境町 ～鹿児島市城山町	146.8km
国道10号	曾於市末吉町深川 ～鹿児島市城山町	70.7km
国道58号	鹿児島市山下町 ～鹿児島市名山町	0.7km
国道220号	霧島市福山町 ～霧島市国分敷根	11.1km
国道225号	枕崎市西本町 ～鹿児島市城山町	52.2km
国道226号	指宿市十二町 ～鹿児島市下福元町影原	32.1km
合計		313.6km

凡例

国土開発幹線自動車道等	==
一般国道（直轄改築区間）	---
一般国道（直轄管理区間）	---
一般国道（直轄管理区間外）	---
一般有料道路	---
主要地方道	---

- 改築事業
- 交通安全事業・修繕代行
- 電線共同溝事業
- 新規事業箇所

10km

令和4年度 鹿児島県国道事務所 予算一覧

事業名	令和4年度当初予算 (百万円)
①国道3号 南九州西回り自動車 阿久根川内道路	2,600
②国道3号 鹿児島東西道路	10,060
③国道10号 白浜拡幅	1,033
④国道10号 鹿児島北バイパス	461
⑤国道220号 亀割峠防災	150
⑥国道225号 喜入防災 (新規事業)	50
⑦交通安全事業(I種)	810
⑧無電柱事業	411
⑨橋梁修繕(修繕代行)	370
合計	15,945

※上記のほか、交通安全事業(II種)、維持管理費、調査費、工事諸費等がある。

南九州西回り自動車の状況

・延長約140kmの自動車専用道路。うち、約38kmが事業中。



◇南九州西回り自動車 約140km (R4.3時点)
 ・開通済 約104km:約74%
 ・事業中 約 38km:約26%

事業中 約16km
 芦北出水道路(一部)

事業中 約22km
 阿久根川内道路

熊本県(約50km)

鹿児島県(約90km)

南九州西回り自動車道(約140km)

国道3号 阿久根川内道路 整備状況

・全体用地進捗率(完成) 30% (R4.3末時点)
 ・全体事業進捗率(完成) 10% (R4.3末時点)

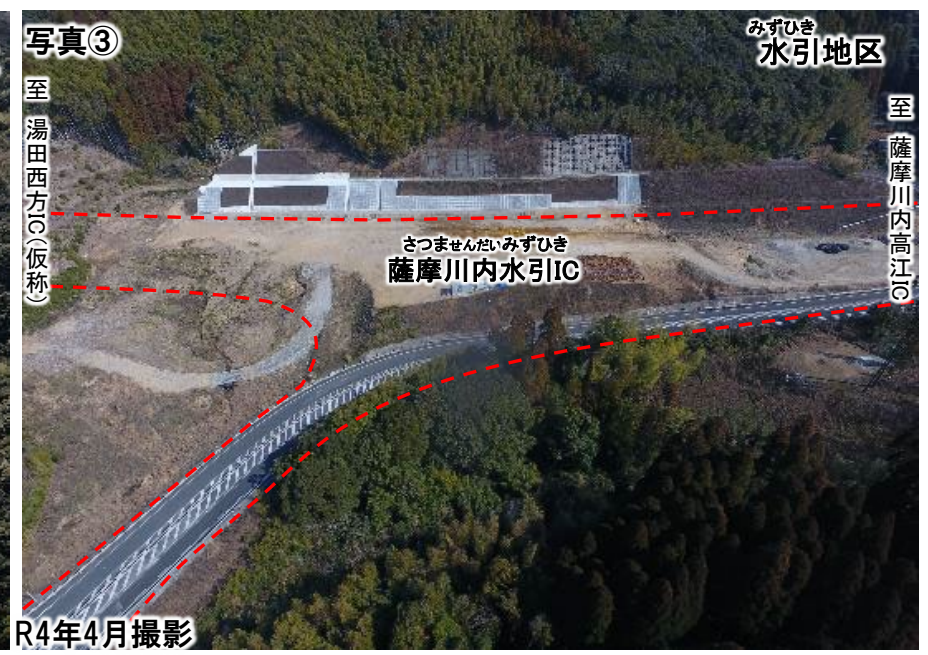


埋蔵文化財調査、道路設計、用地買収、支障物件移設補償、改良工、橋梁上・下部工
 延長4.1km

道路設計、用地買収、支障物件移設補償
 改良工、トンネル工
 延長5.2km

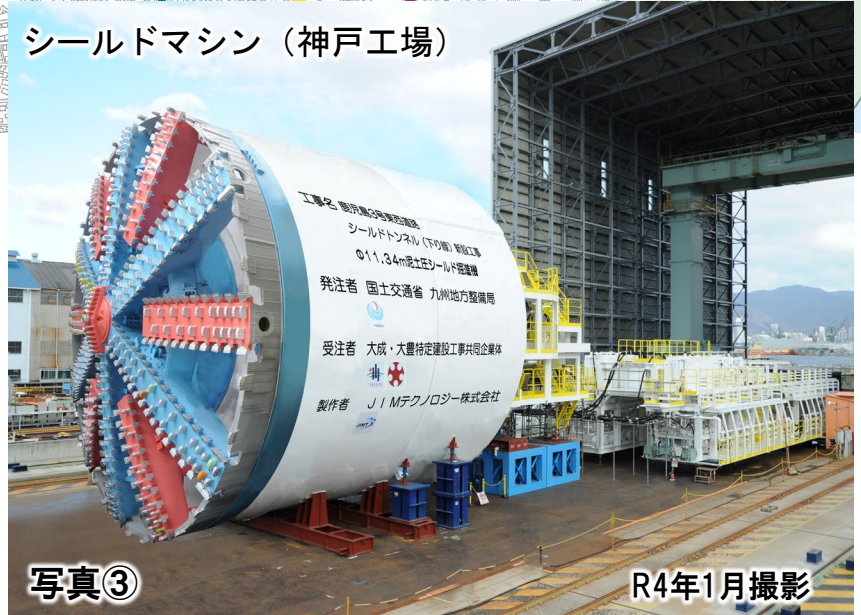
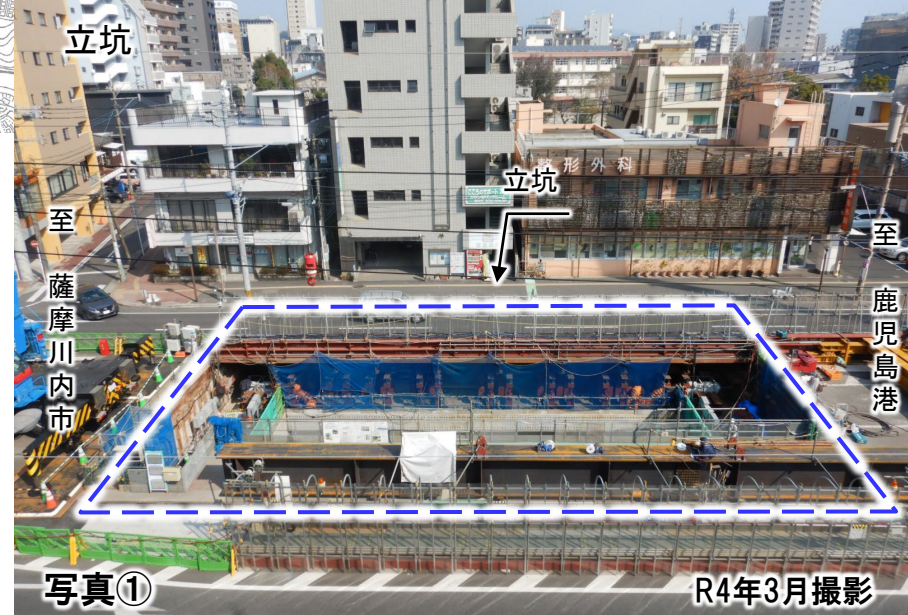
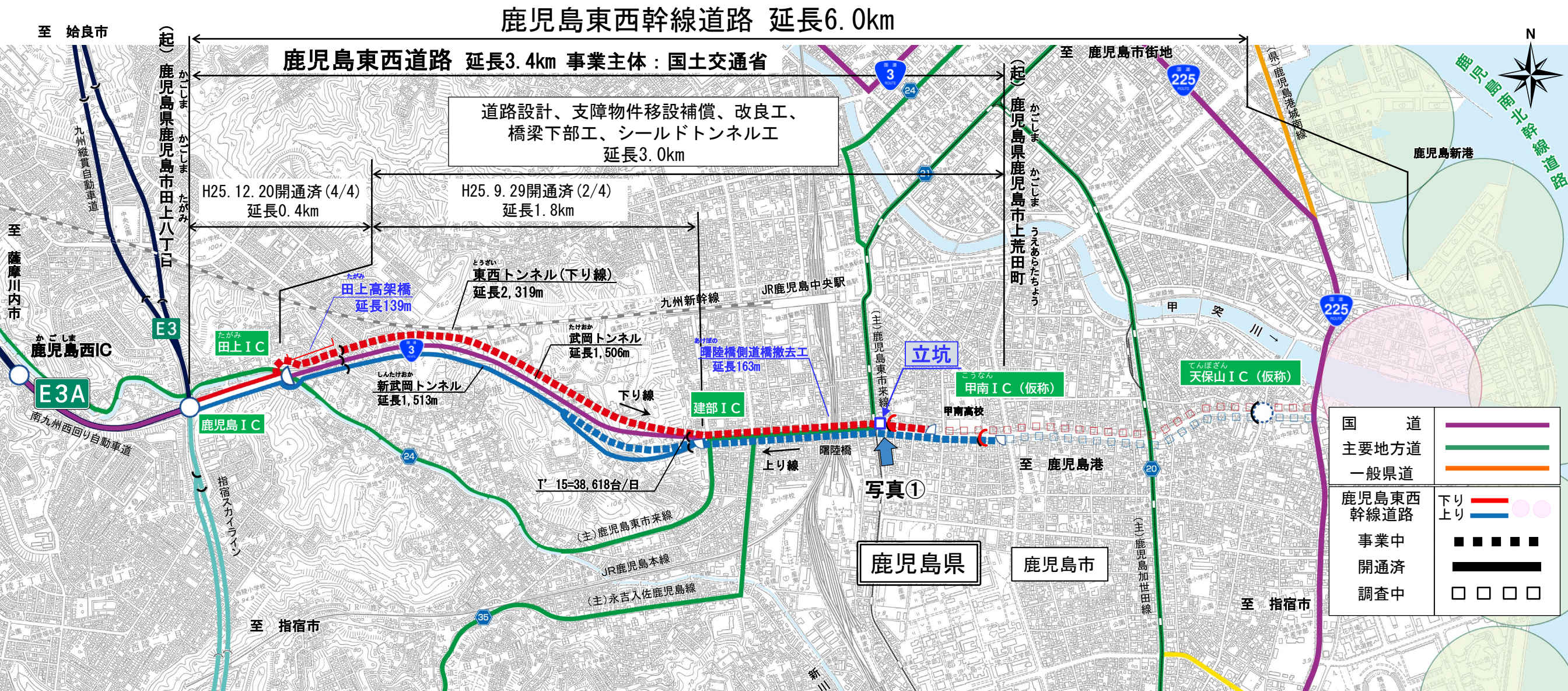
延長22.4km

R4用地国債 約1億円



国道3号 鹿児島東西道路 整備状況

・全体用地進捗率 99% (R4.3末時点)
 ・全体事業進捗率 62% (R4.3末時点)



国道10号 鹿児島北バイパス 整備状況

・全体用地進捗率 89% (R4.3末時点)
 ・全体事業進捗率 24% (R4.3末時点)

鹿児島北バイパス

延長5.3km 事業主体：国土交通省



国道220号 亀割峠防災 整備状況

・全体用地進捗率 0% (R4.3末時点)
 ・全体事業進捗率 1% (R4.3末時点)



事業中	
開通済	
国道	
主要地方道	
一般県道	



国道226号 喜入防災 整備状況

・全体用地進捗率 0% (R4.3末時点)
 ・全体事業進捗率 0% (R4.3末時点)



交通安全対策 (安心・快適な暮らしを提供)

交通安全対策事業の主な整備内容

道路利用者の安全性を高めるために、「事故ゼロプラン」等に基づき、交差点の改良や歩道の整備、通学路の横断防止柵の設置や路面標示などを行っています。

交通安全対策(事故ゼロプラン)

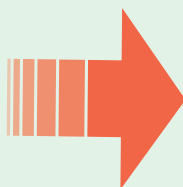
交通事故が多い区間において、区画線や路面標示等により交通安全対策を実施します。

国道225号 紫原団地入口交差点

整備前



整備後



歩道整備

交通状況に応じて、安全な歩行空間を確保するため、特に通学路や公共施設周辺などで歩道を整備します。

整備前

神村学園前いき横断歩道橋 (いちき串木野市別府)



整備後



歩行者の安全性が向上

「緊急合同点検」を受けての通学路の整備

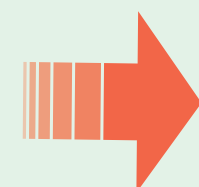
近年、登下校中の児童等が死傷する事故が相次いで発生しました。これを受けて通学路の安全性を確保するため、警察や学校関係者と連携して対策案を検討し、横断防止柵の設置や車道・歩道の路面標示などを実施しています。

通学路安全対策(始良市)

整備前



整備後



歩行者の安全性が向上

ラバーポールを設置

環境 電線共同溝(ライフラインの強化・美しい都市景観の形成)

● 電線共同溝

良好な景観の形成、通行空間の安全性・快適性の確保、大規模災害時の電柱倒壊による道路の寸断防止を目的として、電線類を地中化し、無電柱化する電線共同溝事業を実施します。国道3号上川内・伊敷脇田地区及び国道225号新栄・宇宿地区において電線共同溝本体工事を推進します。

🔧 無電柱化の目的

◎ 景観・観光

景観の阻害要因となる電柱・電線を無くし、良好な景観を形成します。

◎ 安全・快適

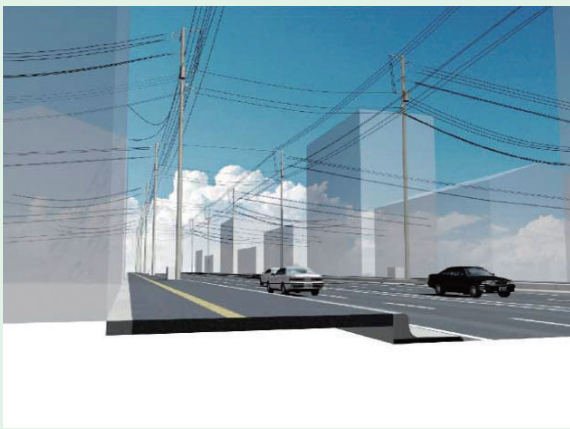
無電柱化により歩道の有効幅員を広げる事で、通行空間の安全性・快適性を確保します。

◎ 防災

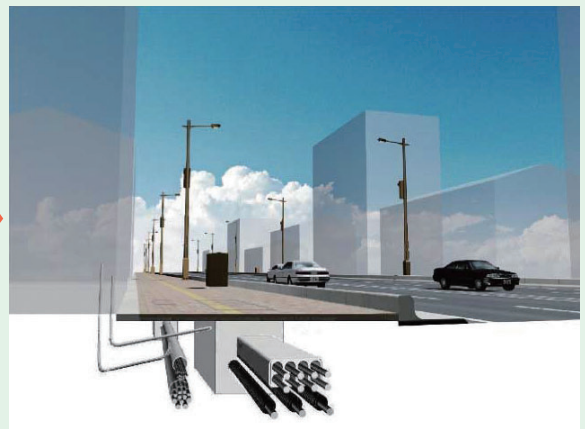
大規模災害(地震・竜巻・台風等)が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止します。

整備前後イメージ模式図

整備前イメージ



整備後イメージ



国道225号新栄地区

現況(全景)



整備イメージ(全景)



直轄診断・修繕代行

○天大橋修繕代行業業

(薩摩川内市 市道隈之城・高城線 天大橋)

国土交通省では、道路施設のメンテナンスにおける地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁等について「直轄診断」を実施しています。

また、道路法の改正により、都道府県又は市町村からの要請があり、かつ、高度な技術力を要する等の修繕工事等を当該地方公共団体に代わって国土交通大臣が実施できる制度を設けています。

「天大橋」においては、薩摩川内市からの要請を受け平成 30 年度に直轄診断を実施しました。また、引き続き修繕代行の要請を受け平成 31 年度より修繕代行に着手しています。

令和 4 年度は、引き続き修繕工事を進めています。

天 大 橋



天大橋全景(下流側より)

橋梁諸元

供用年：昭和59年(1984年)

橋長：517.57m(16径間)、幅員：13.0m

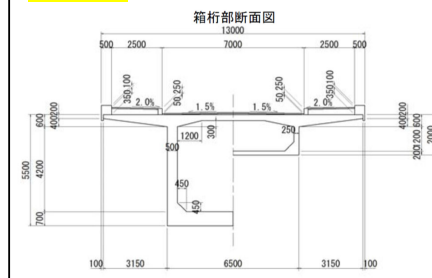
橋梁形式(代行区間)：PC3径間連続ポストテンション箱桁

直轄診断作業状況

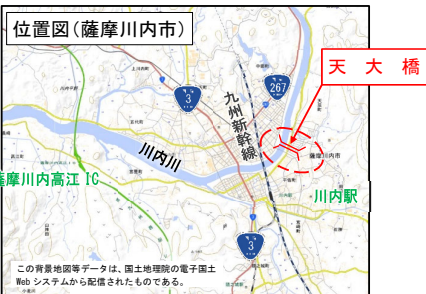
▼橋梁のひび等を目視、確認



▼箱桁断面図



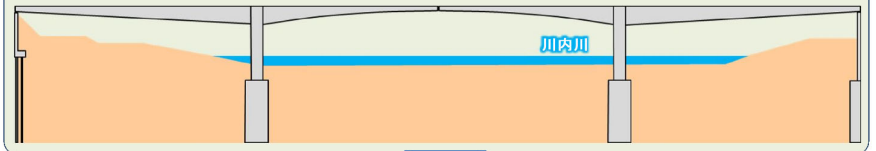
箱桁内の削孔状況



天大橋補修工事の概要

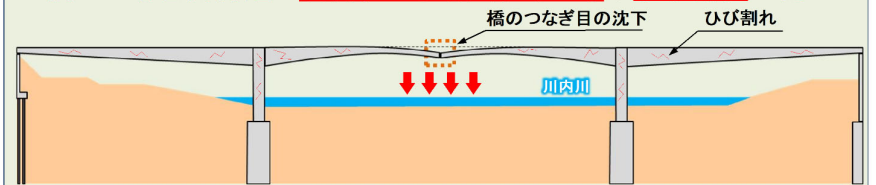
市道 隈之城・高城線くまのじょう たきにかかる天大橋は架設後37年経過しており、点検の結果、老朽化による桁の垂れ下がりなどの損傷が確認されています。補修を行わない場合、安全な通行を確保できなくなる恐れがあるため、補修・補強工事を行い、利用者の安全な通行を確保することとしています。

建設当時(昭和59年)



現状(令和3年:37年経過)

橋のつなぎ目付近で老朽化による垂れ下がりやひび割れが発生



補強を行わないと
垂れ下がりが進行し
通行できなくなる可能性あり!!

対策工事 橋の連続化・ケーブルによる補強など → 安全な通行確保

